

**1. 講義**

- 川西徹, 「化学薬品の品質審査」, 星薬科大学 (2014.5)
- 川西徹, 「薬学への招待」, 東邦大学薬学部 (2014.6)
- 川西徹, 「医薬品の安全性評価について - 非臨床毒性試験の規制における役割 -」, 大阪大学薬学部 (2014.7)
- 合田幸広, 「生活に即した薬学「レギュラトリーサイエンス」の実践」, 健康食品の品質とニセ薬の話を中心に, 星薬科大学早期体験学習講義 (2014.4)
- 合田幸広, 「生薬及び漢方製剤の品質確保」, 保健医療科学院薬事衛生管理研修 (2014.6)
- 合田幸広, 「健康食品を巡る問題について」, 日本食品安全協会教員研修会 (2014.7)
- 合田幸広, 「食薬区分と違法ドラッグ」, 漢方薬・生薬認定薬剤師研修会 (2014.9)
- 合田幸広, 「食薬区分と生薬」, 東京農工大学工学部生命工学科 (2014.12)
- 伊豆津健一, 「錠剤などの生物学的同等性」, 国立保健医療科学院・薬事衛生管理研修 (2014.6)
- 阿曾幸男, 「薬事衛生管理コース：医薬品の安定性」, 国立保健医療科学院 (2014.5)
- 香取典子, 「薬事衛生管理コース：統計学的評価法」, 国立保健医療科学院 (2014.6)
- 坂本知昭, 「薬事衛生管理コース：品質試験検査概論」, 国立保健医療科学院 (2014.6)
- 坂本知昭, 「薬事衛生管理コース：分析法バリデーション」, 国立保健医療科学院 (2014.6)
- 小出達夫, 「薬事衛生管理コース：理化学試験機器概論」, 国立保健医療科学院 (2014.6)
- 香取典子, 「レギュラトリーサイエンスと科学的根拠」, 星薬科大学 医薬品評価レギュラトリーサイエンスⅡ (2014.6)
- 香取典子, 「医薬品申請とガイドライン」, 星薬科大学 医薬品評価レギュラトリーサイエンスⅡ (2014.6)
- 香取典子, 「医薬品申請における国際調和」, 星薬科大学 医薬品評価レギュラトリーサイエンスⅡ (2014.6)
- 石井明子, 「バイオ医薬品の開発と品質・安全性確保」, 高崎健康福祉大学薬学部 (2014.5)
- 日向昌司, 「バイオ医薬品の製造工程の設計と管理に関する研究」, 明治薬科大学健康薬学コース講義 (2014.5)
- 石井明子, 「バイオ医薬品の品質・安全性確保」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2014.6)
- 川崎ナナ, 「バイオ医薬品の品質保証」, 国立保健医療科学院講義 (2014.6)
- 原園景, 「バイオ医薬品の品質評価技術及び品質管理」, 近畿大学薬学部大学院特別講義 (2014.7)
- 川崎ナナ, 「バイオ医薬品の品質に関する今後の展望」, レギュラトリーサイエンス エキスパート研修・特別コース 2014年度医薬品次世代リーダーのための品質分野特別講座 (2014.9)
- 川崎ナナ, 「バイオテクノロジーで医薬品を創る」, 横浜市立大学講義 (2014.9)
- 川崎ナナ, 「医薬品レギュラトリーサイエンス特論」, 北海道大学大学院薬学研究院(臨床薬学専攻)講義 (2014.10)
- 川崎ナナ, 「バイオ医薬品の初回ヒト投与試験における課題ーリスク低減に向けて」, 北海道大学大学院薬学研究院 (2014.10)
- 日向昌司, 「バイオ医薬品の品質, 有効性及び安全性の確保」, 明治薬科大学薬学研究コース講義 (2014.12)
- 花尻(木倉)瑠理, 「麻薬植物」, 平成26年度漢方薬・生薬研修会 (2014.9)
- 花尻(木倉)瑠理, 「“危険ドラッグ”はなぜ危険なのか?」, 平成26年度北海道医療大学薬物乱用防止に関するセミナー (2014.12)

- 花尻 (木倉) 瑠理, 「“危険ドラッグ”はなぜ危険なのか? -危険ドラッグの現状と問題点-」, 平成26年度千葉県病院薬剤師会医療安全講習会 (2014.12)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「指定薬物の現状と違法ドラッグの分析法について」, 平成26年度指定薬物分析研修会議 (2015.1)
- 内山奈穂子, 「危険ドラッグ製品の分析及び成分の同定について」, 平成26年度指定薬物分析研修会議 (2015.1)
- 緒方潤, 「植物系違法ドラッグ製品の基原植物調査について」, 平成26年度指定薬物分析研修会議 (2015.1)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「指定薬物検査法等」, 平成26年度地方衛生研究所全国協議会衛生理化学分野研修会 (2015.2)
- 佐藤陽治, 「再生医療/細胞治療に用いられる細胞の「品質」とは」, 名古屋市立大学大学院薬学研究科 創薬生命科学特別講義I (2014.5)
- 佐藤陽治, 「細胞の品質—再生医療の有効性・安全性確保のための科学的課題」, 群馬大学大学院医学研究科 未来医療研究人材養成拠点形成事業e-ラーニング講義 (2014.5)
- 井上貴雄, 「核酸医薬開発の現状と課題」, 大阪大学大学院薬学研究科 レギュラトリーサイエンス特別講義 (2014.7)
- 佐藤陽治, 「再生医療・細胞治療における細胞の「品質」とは?」, 大阪大学大学院薬学研究科 レギュラトリーサイエンス特別講義 (2014.7)
- 佐藤陽治, 「医薬品等のレギュラトリーサイエンス」, 東邦大学薬学部 医薬品開発 I (2014.7)
- 佐藤陽治, 「細胞の品質—再生医療の有効性・安全性確保のための科学的課題」, 九州大学大学院薬学研究院 第14回創薬リサーチコア研究会 (2014.9)
- 佐藤陽治, 「医薬品等レギュラトリーサイエンス概論」, 東京大学大学院薬学系研究科 医薬品評価科学特論 (2014.10)
- 佐藤陽治, 「再生医療・細胞治療における「細胞の品質」とは?」, 群馬大学大学院医学研究科 未来医療集中講義演習 レギュラトリーサイエンスその1 基礎開発研究 (2014.12)
- 内藤幹彦, 「抗がん剤耐性と細胞死の分子機構」, 平成26年度東京大学薬学部 がん細胞生物学 (2014.6)
- 内藤幹彦, 「プロテインノックダウン法の開発と創薬への応用」, 平成26年度慶応大学薬学部 バイオと医療・ゲノム医学 (2014.6)
- 内藤幹彦, 「IAP (Inhibitor of Apoptosis Protein) の機能と, IAPを利用したプロテインノックダウン法の開発」, 平成26年度浜松医科大学特別講義 (2014.9)
- 鈴木孝昌, 「生命科学特論」, 宇都宮大学大学院 (2014.9)
- 新見伸吾, 「医療機器概論」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2014.7)
- 根本了, 「食品に残留する農薬等の規制と公示試験法について」, 国立保健医療科学院平成26年度短期研修食肉衛生検査研修 (2014.7)
- 渡邊敬浩, 「分析結果の品質に係わる国際的なハーモナイゼーション—CCMASの最近の動向—」, 一般社団法人食品衛生登録検査機関協会平成26年度精度管理研修会 (2014.7)
- 渡邊敬浩, 「分析結果の品質に対する国際的な要求—不確かさの特徴と影響—」, 厚生労働省平成26年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2014.10)
- 鍋師裕美, 「食品中の放射性物質の現状について」, 大阪大学薬学部食品安全学講義 (2014.12)
- 根本了, 「食品中の残留農薬等公示試験法の開発について」, 一般社団法人食品衛生登録検査機関協会平成26年度残留農薬等研修会 (2015.1)
- 坂井隆敏, 「食品中残留動物用医薬品等に関する話題」, 一般社団法人食品衛生登録検査機関協会平成26年度残留農薬等研修会 (2015.1)
- 渡邊敬浩, 「食品中に残留する農薬等に関する分析法の妥当性確認と分析結果の品質保証」, 中国四国厚生局平成26年度検査精度管理業務研修会 (2015.2)

渡邊敬浩, 「分析結果の品質に対する国際的な要求－不確かさの特徴と影響－」, 中国四国厚生局平成26年度検査精度管理業務研修会 (2015.2)

渡邊敬浩, 「食品安全行政における有害物質のリスク管理とそれに不可欠な分析法の妥当性確認」, 一般社団法人食品衛生登録検査機関協会平成26年度業務管理研修会東京 (2015.2)

渡邊敬浩, 「食品安全行政における有害物質のリスク管理とそれに不可欠な分析法の妥当性確認」, 一般社団法人食品衛生登録検査機関協会平成26年度業務管理研修会大阪 (2015.2)

根本了, 「畜水産物中の残留農薬等試験法について」, 平成26年度地方衛生研究所全国協議会衛生化学分野研修会 (2015.2)

渡邊敬浩, 「検査に用いる分析法の妥当性確認について」, 平成26年度地方衛生研究所全国協議会衛生化学分野研修会 (2015.2)

穂山浩, 「食物アレルギーと食品添加物の安全性」, 三重大学大学院 (2014.6)

穂山浩, 「食物アレルギーについて」, 東京農業大学大学院 (2014.7)

穂山浩, 「添加物の規格Ⅰ」, 一般財団法人日本食品添加物協会平成26年度食品衛生管理者登録講習会 (2014.8)

穂山浩, 「食品中アレルギーンのリスク評価」, 東京農工大学 (2014.11)

穂山浩, 「第9版食品添加物公定書に関する改正内容及び国際的食品添加物規制の動向」, 食品衛生登録検査機関協会平成26年度食品添加物研修会 (2014.11)

穂山浩, 「第9版食品添加物公定書の概要」, 一般財団法人日本食品添加物協会平成26年度秋季特別研修会 (2014.11)

佐藤恭子, 「添加物の規格Ⅱ」, 一般財団法人日本食品添加物協会平成26年度食品衛生管理者登録講習会 (2014.8)

佐藤恭子, 「食品添加物公定書の改正等について」, 特別区職員研修所平成26年度専門研修 (2014.9)

佐藤恭子, 「食品中の食品添加物分析法について」, 食品衛生登録検査機関協会平成26年度食品添加物研修会 (2014.11)

久保田浩樹, 「分析法概論Ⅰ」, 一般財団法人日本食品添加物協会平成26年度食品衛生管理者登録講習会 (2014.8)

大槻崇, 「天然物化学概論(4)食品と天然物化学」, 千葉大学 (2014.10)

大槻崇, 「食品中のスクラロース分析について」, 食品衛生登録検査機関協会平成26年度食品添加物研修会 (2014.11)

大槻崇, 「食品中の食品添加物分析法について」, 静岡県立大学 (2014.12)

杉本直樹, 「定量分析の信頼性」, 明治薬科大学健康薬学コース (2014.5)

杉本直樹, 「添加物の規格Ⅲ」, 一般財団法人日本食品添加物協会平成26年度食品衛生管理者登録講習会 (2014.8)

多田敦子, 「分析法概論Ⅱ」, 一般財団法人日本食品添加物協会平成26年度食品衛生管理者登録講習会 (2014.8)

六鹿元雄, 「添加物の規格Ⅳ」, 一般財団法人日本食品添加物協会平成26年度食品衛生管理者登録講習会 (2014.8)

六鹿元雄, 「規格試験法の性能評価と改正に向けた取り組み」, 食品衛生登録検査機関協会平成26年度器具・容器包装研修会 (2014.10)

河村葉子, 「食品添加物とその安全性」, 東京大学 (2014.4)

河村葉子, 「食品包装及び包装材料の安全性と法規制」, 日本包装技術協会平成26年度包装アカデミー (2014.9)

河村葉子, 「食品用器具・容器包装における法規制」, 東京農工大学 (2014.10)

河村葉子, 「食品添加物の開発と規制」, 東京農工大学 (2014.10)

五十君静信, 「食品の微生物基準設定に係る国際情勢と国内の今後の対応について」, 平成26年度HACCP指導者養成研修 (2014.8)

- 五十君静信, 「微生物基準について～生食用食肉及びリステリア～」, 平成26年度食品安全行政講習会 (2014.8)
- 五十君静信, 「ISO法検査セミナー」, 石川微生物実技研修会 (2014.11)
- 朝倉宏, 「食品有害微生物のリスク管理」, 東京農工大学工学府生命工学科講義 (2014.11)
- 朝倉宏, 「家畜微生物学」, 東京農業大学農学部畜産学科講義 (2014.4-7)
- 朝倉宏, 「応用獣医学特論」, 岐阜大学大学院連合獣医学研究科講義 (2014.12)
- 朝倉宏, 「鶏・鶏肉におけるカンピロバクターの制御」, 農林水産省平成26年度省内研修会 (科学セミナー) (2014.12)
- 朝倉宏, 「カンピロバクター食中毒の疫学と, 食肉・食鳥肉衛生に関わる課題」, 国立保健医療科学院平成26年度特別課程食肉衛生検査研修 (2014.6)
- 大城直雅, 「マリンバイオトキシン」, 明治薬科大学 (2014.5)
- 大城直雅, 「魚介類の毒について」, 秋田県食品安全セミナー (2014.6)
- 大城直雅, 「マリンバイオトキシンによる食中毒」, 平成26年度第2回食品衛生監視員研修会 (2014.9)
- 大城直雅, 「自然毒 (海産生物毒) について」, 平成26年度「地域保健総合推進事業」地方衛生研究所地域ブロック専門家会議 (理化学部門) 地方衛生研究所全国協議会北海道東北ブロック (2014.10)
- 大城直雅, 「マリントキシン分析の動向」, 平成26年度地域保健総合推進事業九州ブロック理化学部門地域専門家会議 地方衛生研究所全国協議会九州ブロック (2014.10)
- 大城直雅, 「魚介類の毒－海洋生物毒による食中毒の傾向と対策－」, 平成26年度明治薬科大学市民大学講座「自然と健康を考える」 (2014.12)
- 大城直雅, 「マリンバイオトキシン」, 国立保健医療科学院平成26年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2015.01)
- 大城直雅, 「マリンバイオトキシン (海産生物毒) による食中毒」, 平成26年度第2回公衆衛生専門技術研修 (2015.2)
- 岡田由美子, 「リステリアの規格基準設定の考え方」, 国立保健医療科学院平成26年度特別課程食肉衛生検査研修 (2014.6)
- 野田衛, 「ノロウイルスの検出法について」, 厚生労働省平成26年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2014.10)
- 野田衛, 「食品中のノロウイルス遺伝子の検出について」, 特別区職員研修所平成26年度専門研修 (2014.9)
- 野田衛, 「ウイルスによる食中毒」, 国立保健医療科学院平成26年度食品衛生監視員危機管理研修 (2015.1)
- 野田衛, 「ウイルス性食中毒について」, 岩手大学農学部特別講義 (2014.12)
- 野田衛, 「ウイルスの食品検査における話題」, (一社) 衛生検査登録機関協会平成26年度微生物研修会 (2014.11)
- 野田衛, 「食品からのウイルス検出法の開発, 標準化に関する研究」, 明治薬科大学特別講義 (2014.4)
- 野田衛, 「ウイルス性食中毒について」, 北里大学海洋生命科学部食品衛生学特別講義 (2014.10)
- 寺嶋淳, 「学校給食における衛生管理の徹底について」, 山梨県教育委員会 学校給食栄養・衛生管理講習会 (2014.5)
- 寺嶋淳, 「食中毒原因病原体の解析と食中毒調査への応用」, 大分県生活環境部食品安全・衛生課 大分県部局別専門・技術研修会 (2014.10)
- 工藤由起子, 「腸管出血性大腸菌主要6血清群の検査法」, 厚生労働省食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2014.10)
- 工藤由起子, 「多血清群の腸管出血性大腸菌試験法」, 食品衛生登録検査機関協会平成26年度微生物研修会 (2014.11)
- 渡辺麻衣子, 「きれいなスライド標本を作る」, 第32回セ

- ミナー (NPO法人カビ相談センター) (2015.3)
- 渡辺麻衣子, 「平成26年度短期研修 食品衛生危機管理研修 食品真菌の検査 - 異物としての真菌とその同定 -」, 国立保健医療科学院 (2015.2)
- 大西貴弘, 「生食を原因とする新しい寄生虫性食中毒」, 大阪大学薬学部食品安全学特別講義 (2014.12)
- 大西貴弘, 「魚肉における原因不明食中毒の究明と対策」, 平成26年度食品衛生危機管理研修 (2015.1)
- 大西貴弘, “New parasitic food-borne disease outbreak”, 岐阜大学大学院教育改革プログラム研修コース (2014.12)
- 菊池裕, 「原因不明食中毒と医薬品の微生物学的安全性確保について」, 明治薬科大学薬学部 (2014.4)
- 菊池裕, 「レギュラトリーサイエンス講座 薬食衛生微生物分野講義」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2014.7)
- 最上知子, 「医薬品・食品・生活化学物質の安全を守る 国立衛研の役割と研究」, 平成26年度東北大学薬学部薬学概論2 (2014.5)
- 近藤一成, 「きのこによる食中毒」, 国立保健医療科学院 平成26年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2015.1)
- 中村公亮, 「遺伝子組換え食品」, 平成26年度JICA食品衛生のための行政能力強化 (2014.11)
- 安達玲子, 「基礎から学ぶ特定原材料表示 ~導入の背景から製品の検査法まで~」, 日本食品衛生協会食品衛生研究所 食物アレルギー検査実習 (2014.8)
- 青木良子, 「医薬品を安全に使うために, 海外の副作用情報を利用する」, 東北大学薬学部薬学科感染症学授業 (2014.12)
- 畠山智香子, 「リスクアナリシスによる食品の安全性確保」, 第35期食品保健指導士養成講習会 (2014.7)
- 畠山智香子, 「ほんとうの『食の安全』を考える」, 愛媛大学教育学部 (2014.7)
- 畠山智香子, 「リスク分析と様々なリスク」, 千葉大学園芸学部公開講座食の安全と安心 (2014.10)
- 畠山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価について」, 宮城大学食産業学部 (2014.12)
- 畠山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価」, 国立保健医療科学院平成25年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2015.1)
- 春日文子, 「食品安全におけるリスクアセスメント」, 国立感染研究所FETP初期導入コース (2014.4)
- 春日文子, 「食品安全学Ⅱ 微生物学的リスクアセスメント」, 京都大学農学部予防微生物学 (2014.5)
- 春日文子, 「生体研究科学特別講義B」, 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科, 獣医学専攻授業 (2015.2)
- 中村亮介, 「医薬品の重篤副作用と発症関連バイオマーカー」, 東北大学 (2014.6)
- 斎藤嘉朗, 「医薬品の重篤副作用と発症関連バイオマーカーおよびゲノム薬理学に関するガイドライン等」, 千葉大学 (2014.7)
- 斎藤嘉朗, 「医薬品の安全性に関する研究について」, 帝京平成大学 (2014.10)
- 斎藤嘉朗, 「メタボロームとゲノム研究」, 和歌山医科大学 (2014.11)
- 中村亮介, 「医薬品の重篤副作用~ 皮膚毒性を中心に~」, 東北大学 (2014.12)
- 斎藤嘉朗, 「医薬品評価における多様性の評価」, 東京大学 (2014.12)
- 斎藤嘉朗, 「医薬品開発における肝毒性評価」, 東北大学 (2015.1)
- 斎藤嘉朗, 「医薬品の製造販売後の安全性確保に関する行政施策と医療情報データベースを用いた研究」, 東北大学 (2015.1)
- 斎藤嘉朗, 「ゲノム薬理学の最前線」, 北里大学 (2015.1)
- 佐藤薫, 「健康な脳を守る」ための厚労研究-グリア細胞からヒトiPS細胞まで」, 熊本大学大学院「分子薬効学特論」「医療薬科学特論」講義 (2014.6)

佐藤薫, 「薬はどのようにして作られるか」, 群馬大学医学部応用基礎医学講義 (2014.9)

吉田緑, 「レギュラトリーサイエンス」, 東京農工大学工学部集中講義 (2014.12)

杉山圭一, 「栄養保健」, 東京医科歯科大学 (2014.5)

広瀬明彦, 「化学物質の定量的リスク評価手法<レギュラトリーサイエンス講座>」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2014.6)

広瀬明彦, 「ナノ材料の安全性, リスク評価の考え方<ナノテクノロジー社会受容特論>」, 大阪大学ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム (2014.6)

## 2. 講演

川西徹, 「革新的医薬品開発にむけたレギュラトリーサイエンスとは - 国立医薬品食品衛生研究所の取組について -」, 第27回大阪大学医工情報連携シンポジウム産官学連携シンポジウム (2014.9)

川西徹, 「後発医薬品の有効性, 安全性確保の考え方」, 長崎国際大学第一回生涯教育セミナー (2014.10)

川西徹, 「先端的医薬品等の開発にむけたレギュラトリーサイエンス - 国立医薬品食品衛生研究所の取組について -」, 東京大学薬学セミナー (2015.1)

川西徹, 「製法問題検討小委員会での議論と日局の方向性」, 大薬協技術研究委員会講演会 (2015.1)

川西徹, 「健康・医療戦略におけるレギュラトリーサイエンスの役割」, 先端創薬科学講座セミナー (2015.2)

川西徹, 「後発医薬品の品質, 有効性, 安全性確保の考え方」, 第5回香川県ジェネリック医薬品セミナー (2015.2)

合田幸広, 「健康食品の品質に関する課題, 健康食品企業に望むこと」, 健食原料・素材・OEM展2014 (2014.5)

合田幸広, 「医薬品としての生薬・薬用植物薬学的視点からの共創的連携」, 大阪大学総合学術博物館学術シンポジウム (2014.6)

合田幸広, 「健康食品の新たな機能性表示と健康食品の

品質」, ヘルスライフビジネス講演会 (2014.9)

合田幸広, 「新しい機能性表示と健康食品の品質」, 日本食品化学新聞社講演会 (2014.9)

合田幸広, 「健康食品の新しい機能性表示と品質に関する課題」, 茨城県薬剤師会検査センター研修会 (2014.10)

合田幸広, 「新しい機能性表示と健康食品の品質に関する課題」, 参議院議員内学習会 (2014.10)

Goda Y, "Introduction of qNMR to the Japanese Pharmacopoeia (JP) for specification of marker compounds used for standardization of herbal medicines", 2014 International Summit on Innovative Drug Discovery, Charting the Course of Standardization of Chinese Materia Medica (2014.11)

合田幸広, 「新しい機能性表示と健康食品の品質に関する課題」, 日本食品工業倶楽部講演会 (2014.11)

合田幸広, 「一般用漢方処方について行って来たこと」, 第47回社団法人日本漢方交流会全国学術集会, 京都 (2014.11)

Goda, Y, "Pharmacopoeial topics on herbal medicines in Japan from 2013 to 2014", The 11th Standing Committee Meeting of the Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (2014.11)

合田幸広, 「医薬品としての生薬の品質評価」, 北里WHO・COIシンポジウム (兼漢方診療標準化プロジェクト第2回シンポジウム) (2014.12)

合田幸広, 「危険ドラッグとNMRを用いた構造決定」, 東京大学・日本電子産学連携第40回NMRユーザーズミーティング (2014.12)

合田幸広, 「健康食品の問題点と新たな機能性表示制度に係る食品メーカーへの提言」, 新食品会第4回例会 (2015.3)

伊豆津健一, 「ジェネリック医薬品品質情報検討会の活動内容について」, ジェネリック医薬品学会 第8回学術大会 (2014.7)

阿曾幸男, 「ICH M7ガイドライン (Step2文書) の概要」,

- インターフェックス ジャパン2014 (2014.7)
- 坂本知昭, 「テラヘルツ波を用いた医薬品の分子センシングと産業応用に向けた取り組み」, 大阪大学レーザーエネルギー学研究センター 第5回高強度レーザー施設共用促進セミナー「医・薬・バイオ分野におけるテラヘルツ技術の新展開」(2014.7)
- 坂本知昭, 「GMP品質試験検査における分析結果の信頼性確保・規格外結果(OOS)における再分析と分析法バリデーション」, 平成26年度医薬品・化粧品等品質管理研修会(2014.10)
- 坂本知昭, 「テラヘルツ・赤外波を用いた医薬品のプロセスモニタリング及び品質解析のための分子センシング」, InterOpt2014/BioOpt Japan 2014 (2014.10)
- 香取典子, 「日本のPIC/S加盟によるインパクト—公的試験機関に求められる変化—」, ファームテックジャパンセミナー(2014.11)
- Sakamoto T, "Application of terahertz imaging in pharmaceutical sciences", The 16th Takayanagi Kenjiro Memorial Symposium (2014.11)
- 香取典子, 「登録検査機関の外部精度管理について」, 平成26年度試験検査センター技術研修会(2014.12)
- 坂本知昭, 「製薬におけるテラヘルツ分光及びイメージング技術の応用」, 産学行政連携支援テラヘルツ波産業応用研究会第26年度講演会(2014.12)
- 加藤くみ子, 「ナノ医薬品の評価」, 日本製薬工業協会医薬品評価委員会 第119回基礎研究部会総会(2014.12)
- 加藤くみ子, 「リポソーム製剤の評価について」, 第32回物性物理化学研究会(2014.6)
- Sakai-Kato K, "Current initiatives for regulatory science researches for nanomedicines in Japan", The European Summit for clinical nanomedicines 2014 (2014.6)
- 加藤くみ子, 「DDS製剤の概説」, 日本病院薬剤師会東北ブロック第4回学術大会(2014.5)
- 石井明子, 「医薬品開発における生体試料中薬物濃度分析法(リガンド結合法)のバリデーションに関するガイドライン」策定の背景と論点, 日本薬物動態学会 第8回ショートコース ～バイオ医薬品開発を促進する技術基盤～(2014.5)
- 川崎ナナ, 「実験データに基づくジェネリック医薬品/バイオシミラーの選択「バイオ後続品とジェネリック医薬品」」, 日本病院薬剤師会 東北ブロック 第4回学術大会(2014.5)
- 川崎ナナ, 「バイオシミラーの類似性評価における課題」, 第3回DIA CMCフォーラム(2014.6)
- 石井明子, 「バイオシミラーの世界における現状」, 第3回DIA CMCフォーラム(2014.6)
- 川崎ナナ, 「バイオ医薬品の開発・製造と質量分析」, 日本質量分析学会第11回北海道談話会講演会(2014.7)
- 原園景, 「バイオ医薬品」, 第41回BMSコンファレンス(2014.7)
- 橋井則貴, 「高分子LC/MSバイオアナリシスの現状と課題について」, 第27回バイオメディカル分析科学シンポジウム(2014.8)
- 石井明子, 「バイオ医薬品の品質評価に関する最新動向」, JASIS 2014 日本薬局方セミナー(2014.9)
- 川崎ナナ, 「バイオ医薬品のQbDアプローチ開発」, 製剤機械技術学会第24回大会(2014.10)
- 川崎ナナ, 「躍進する抗体医薬品—現状と課題—」, 第58回日本薬学会関東支部大会(2014.10)
- Ishii A, "The Japanese BMV guideline for ligand binding assay", European Bioanalysis Forum 7th Open Symposium (2014.11)
- 石井明子, 「抗体医薬品 さらなる発展への課題: 規制の観点から」, 第39回日本薬学会関東支部学術講演会(2014.12)
- 石井明子, 「Fcγ受容体発現細胞を用いた抗体医薬品のエフェクター活性評価法, 及び, 蛍光イメージングによる抗体医薬品類の動態評価法の開発」, 平成26年度 先駆的医薬品・医療機器研究 発掘支援事業成果発表会—彩都産学官連携フォーラム2015—(2015.1)

橋井則貴, 「抗体医薬品の迅速最適化法の開発に関する研究: LC/MSによる構造解析法の開発」, 平成26年度先駆的医薬品・医療機器研究 発掘支援事業成果発表会 - 彩都産学官連携フォーラム2015- (2015.1)

袴塚高志, 「違法ドラッグ関連の危機管理における国立医薬品食品衛生研究所の取り組み」, 平成26年度全国地方衛生研究所長会議 (2014.6)

花尻 (木倉) 瑠理, 「違法ドラッグ (いわゆる脱法ドラッグ) の流通実態と分析法について」, 法医中毒研究会 (2014.6)

内山奈穂子, 「違法ドラッグ成分の分析及び同定に関する研究」, 日本法中毒学会33年会 (2014.7)

花尻 (木倉) 瑠理, 「海外の脱法ドラッグ事情と日本における流通実態」, 社会安全フォーラム「我が国の薬物対策の今とこれから～脱法ドラッグの脅威への対処に向けて～」 (2014.7)

丸山卓郎, 「国立衛研・生薬部が扱った最近のトピックス」, 第12回生薬若手懇話会 (2014.8)

袴塚高志, 「産学官で取り組む生薬資源の確保と持続的利用」, 日本生薬学会第61回年会 シンポジウム 生薬資源の確保と持続的利用 ～甘草を取り巻く現状と今後の展望～ (2014.9)

袴塚高志, 「生薬の公定規格に関する最近の話題」, 大阪生薬協会技術部会特別講演会 (2014.10)

袴塚高志, 「食品と医薬品の境界～西洋ハーブ医薬品と食薬区分を例として～」, 第43回生薬分析シンポジウム (2014.11)

袴塚高志, 「生薬及び生薬・漢方製剤の標準化について」, 日本生薬学会関西支部平成26年度秋期講演会 (2014.11)

花尻 (木倉) 瑠理, 「日本における危険ドラッグの流通実態」, 第5回日本中毒学会九州地方会 (2015.1)

袴塚高志, 「天然物医薬品の品質・安全性確保のための評価法の戦略的開発」, 平成26年度厚生労働科学研究委託費創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会「医薬品・医療機器の実用化促進のための官民共同研究の進捗と展望」 (2015.2)

袴塚高志, 「事例「医薬品」生薬 (製剤) のリスク区分」, 薬学教育におけるレギュラトリーサイエンスに係る教材や教育方法に関するシンポジウム (2015.2)

佐藤陽治, 「再生医療・細胞治療に関する国内外の規制動向」, 医療機器レギュラトリーサイエンス研究会 第9回研究会 (2014.6)

井上貴雄, 「核酸医薬開発の動向と課題」, 次世代医薬「核酸医薬」創出に向けたStrategy2014 (2014.7)

黒田拓也, 「QX100 Droplet Digital PCRを用いたヒトiPS細胞由来分化細胞中における混入未分化iPS細胞の高感度検出法の開発」, 第1回バイオ・ラッド デジタルPCRユーザーフォーラム (2014.7)

井上貴雄, 「核酸医薬品の実用化に向けたレギュラトリーサイエンス研究への取り組み」, アンチセンス・遺伝子・デリバリーシンポジウム2014 (2014.9)

井上貴雄, 「核酸医薬品開発の動向と課題」, 第27回大阪大学医工情報連携シンポジウム ～創薬と医療から日本の未来を考える～ (2014.7)

内田恵理子, 「生物薬品委員会の検討課題ーマイコプラズマ否定試験の改正によるNAT法の積極的活用ー」, 第13回日本薬局方に関する研修会 (2014.10)

井上貴雄, 「核酸医薬品の開発動向とレギュラトリーサイエンス研究への取り組み」, 第19回分子複合医薬研究会 (2014.11)

佐藤陽治, 「ヒト/動物細胞加工製品の品質確保に関する基本的考え方」, レギュラトリーサイエンス学会シンポジウム～再生医療等製品の承認審査と再生医療新法～ (2014.11)

佐藤陽治, 「再生医療等製品/特定細胞加工物に関する新しい規制」, バイオリジクスフォーラム第12回学術集会 (2014.12)

Sato Y, "Tumorigenicity Tests for the Quality and Safety of Cell-Based Therapeutic Products", IABS (International Alliance For Biological Standardization) Workshop (2015.2)

佐藤陽治, 「革新的医薬品等の品質と安全性を確保する

ためのレギュラトリーサイエンス -新しい製品が乗り越えなければならない新しい課題-, 京阪神連携シンポジウム「関西の医療開発の展望とレギュラトリーサイエンス研究への取組」(2015.3)

佐藤陽治, 「再生医療等製品の製造における生物由来原料の品質」, 第14回日本再生医療学会総会ランチョンセミナー (2015.3)

新見伸吾, 「バイオ医薬品の免疫原性の非臨床及び臨床における評価」, 安全性評価研究会 2014年冬のセミナー (2014.12)

井上貴雄, 「日本発核酸医薬の創出に向けて」, 抗体医薬・核酸医薬開発コンソーシアムシンポジウム (2015.1)

井上貴雄, 「核酸医薬品の安全性確保のための評価技術開発」, 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会「医薬品・医療機器の実用化促進のための官民共同研究の進捗と展望」(2015.2)

井上貴雄, 「核酸医薬開発とレギュラトリーサイエンス研究」, 第18回バイオメディカル研究会 (2015.3)

井上貴雄, 「核酸医薬品開発のポイント-開発の現状・市場動向・課題・レギュラトリーサイエンス-, R&D支援センターセミナー (2015.3)

新見伸吾, 「医療機器の開発から承認申請に至るまでのプロセスで産業界が留意すべき点」, 第2回JMACシンポジウム (2015.1)

宮島敦子, 「評価指標に関する概要説明」, 医療機器ガイドライン活用セミナー #6診断用DNAチップガイドライン解説 (2014.12)

中岡竜介, 「医療機器に関連した国際標準化状況について:ISO/TC 150 (外科用インプラント)を中心に」, 「ISO/TC 150 (外科用インプラント)とバイオセラミックスの国際標準化の状況」講演会 (2015.1)

中岡竜介, 「国際幹事経験談及び医療機器分野国際標準化の現状について」, 平成26年度第2回ISO国際標準化研修-上級編 (2015.1)

迫田秀行, 「医療機器開発の流れと実際」, 第296回RIST (くまもと技術革新・融合研究会) フォーラム (2015.2)

小林憲弘, 「水道水中の農薬類のGC/MSおよびLC/MS/MS分析方法の開発」, 日本水環境学会 MS分析技術基礎講習会~今さら聞けない基礎知識講習会~ (2014.5)

河上強志, 「家庭用品中の化学物質に起因する健康被害について」, 平成26年度日本家庭用洗剤工業会洗剤・漂白剤等安全対策協議会合同講演会 (2014.6)

神野透人, 「日本の室内空気質の現状:室内濃度指針値の見直しに向けた全国調査」, 第55回大気環境学会年会 (2014.9)

神野透人, 「生活環境化学物質の健康影響と感受性要因の分子機構に関する研究」, フォーラム2014:衛生薬学・環境トキシコロジー (2014.9)

神野透人, 「室内空気中の揮発性有機化合物:室内濃度指針値見直しのスキーム」, 環境科学会2014年会 (2014.9)

香川 (田中) 聡子, 神野透人, 「生活環境化学物質による侵害刺激」, フォーラム2014:衛生薬学・環境トキシコロジー (2014.9)

小林憲弘, 「水道水の新規検査法開発 ~フェノール, 農薬類を例に~」, 平成26年度 飲料水検査技術講習会 (2014.9)

小林憲弘, 「水道水の安全性確保の取組み」, 平成26年度兵庫県立健康生活科学研究所・研究アドバイザーによる講演会 (2014.11)

神野透人, 香川 (田中) 聡子, 「指針値の改定に向けた室内空気質の全国調査」, 第85回日本衛生学会学術総会シンポジウム (2015.3)

神野透人, 「日本の室内空気質の現状」, 日本薬学会第135年会 一般シンポジウム (2015.3)

小林憲弘, 「水道水質検査の精度管理について」, 平成26年度「飲料水検査精度管理調査に関する研修会」(2015.3)

久保田領志, 「平成27年度統一試料を用いた精度管理調査について」, 水道水質検査精度管理に関する研修会 (2015.3)

穂山浩, 「食品中の低分子化合物のアレルギーに関する研究」, 公益財団法人食生活研究会第22回「食と健康」講演会 (2014.10)

- 穂山浩, 「Regulatory Scienceにおける国立医薬品食品衛生研究所の役割」, 第3回奥伊勢Forum (2014.10)
- 穂山浩, 「第9版食品添加物公定書の概要」, 第12回食品安全フォーラム (2014.11)
- 穂山浩, 「食品添加物の安全性のはなし~事故ゼロを目指して~」, 名古屋市食の安全・安心フォーラム (2014.11)
- 穂山浩, 「食品添加物の安全性について」, 西日本地区食品衛生検査機関研究協議会 (2015.2)
- 佐藤恭子, 「国際汎用添加物と食品添加物指定等相談センター」, 第12回食品安全フォーラム (2014.11)
- 杉本直樹, 「NMRとMSによる定量分析について」, 第4回JAIANミーティング (2014.4)
- 杉本直樹, 「既存添加物の規格設定」, 第12回食品安全フォーラム (2014.11)
- 多田敦子, 「NMR (核磁気共鳴法) を利用した定量技術と食品添加物公定書試薬への応用」, JASISコンファレンス2014 (2014.9)
- Mutsuga M, "Food contact regulatory situation in Japan", Smithers Pira Global Food Contact (2014.5)
- 河村葉子, 「第79回JECFA会議報告」, 日本添加物協会・日本香料工業会 (2014.7)
- 五十君静信, 「食品製造における衛生管理に適した試験法選択の考え方~数的指標を導入した規格基準の解説~」, 第14回食品安全戦略研究会 (2014.8)
- 五十君静信, 「プロバイオティクスの安全性評価」, 特定非営利活動法人国際生命科学研究機構食品リスク研究会 (2014.9)
- 五十君静信, 「食肉における微生物学的リスクマネジメントの現状と課題」, 第9回Infection Forum Tokyo (2014.11)
- 五十君静信, 「食品の微生物学的安全確保の課題」, 日本食品照射研究協議会 (2014.12)
- 朝倉宏, 「カンピロバクターの遺伝学的多様性と宿主内外での動態」, 第7回日本カンピロバクター研究会総会 (2014.12)
- 朝倉宏, 「鶏・鶏肉におけるカンピロバクター汚染の実態とその対策について」, 平成26年度食鳥肉衛生技術研修会 (2015.1)
- 朝倉宏, 「食品微生物に係る昨今の状況について」, 平成26年度静岡県保健所等細菌検査担当者技術研修会 (2015.2)
- 野田衛, 「ウイルスによる食中毒情報と感染予防について」, 対米・EU輸出水産食品HACCP認定施設協議会 (2015.3)
- 野田衛, 「ノロウイルスに関する最新知見」, 食の安全と安心フォーラム X ~ノロウイルスの最新研究とその防御対策~ (2015.2)
- 野田衛, 「我が国における食中毒の現状と課題」, 第2回平成26・27年度国民生活安全対策委員会 (2015.2)
- 野田衛, 「ウイルスによる食中毒情報と感染予防について」, 2014年度水産食品衛生協議会定例研修会 (2015.1)
- 野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒対策について」, 平成26年度「ノロウイルス食中毒の予防と対策」講習会 (2015.1)
- 野田衛, 「ノロウイルス食中毒対策について」, 平成26年度「食品の安全性に関する講演会」 (2015.1)
- 野田衛, 「ノロウイルス」, (公社) 日本給食サービス協会ノロウイルス講演会・意見交換会 (2014.12)
- 野田衛, 「ノロウイルス食中毒の現況と対策」, 茨城県食品衛生協会平成26年度ノロウイルス講習会 (2014.11)
- 野田衛, 「ノロウイルス食中毒対策について」, 新潟市食品衛生協会平成26年度ノロウイルス講習会 (2014.11)
- 野田衛, 「ノロウイルス食中毒対策について-学識経験者の立場から-」, 岩手県食品衛生協会平成26年度講演会 (2014.11)
- 野田衛, 「ノロウイルス食中毒対策について」, 日本ベストコントロール協会 (2014.11)

- 野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒対策について－学識経験者の立場から－」, 日本食品衛生協会平成26年度「ノロウイルス食中毒の予防と対策」(2014.11)
- 野田衛, 「ノロウイルス食中毒対策について」, 山形県環境エネルギー部危機管理・くらし安心局主催講演会(2014.11)
- 野田衛, 「ノロウイルス食中毒の現況と対策」, 中央区平成26年度食の安全・安心講習会(2014.11)
- 野田衛, 「ノロウイルス食中毒の現状と対策」, 岐阜市平成26年岐阜市「食の安全」研修会(2014.10)
- 野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒・感染症対策」, 平岩手県平成26年度岩手県食の安全安心リスクコミュニケーション「ノロウイルスによる食中毒・感染症対策を考えるシンポジウム」(2014.10)
- 野田衛, 「ノロウイルス食中毒の現況と対策並びに今後の課題」, 東京顕微鏡院第86回食と環境のセミナー(2014.10)
- 野田衛, 「ノロウイルス食中毒の現状と対策」, 2014年度コープCSネット.虹の会共催 第9回開発商品 品質管理研修会(2014.9)
- 野田衛, 「ノロウイルス食中毒の現状と対策」, 日本食品衛生工業倶楽部品質保証懇話会2014年8月例会(2014.8)
- 野田衛, 「ノロウイルス食中毒等の予防について」, 平成26年度岩手県衛生管理推進等研修会(2014.6)
- 工藤由起子, 「食品検査における腸管出血性大腸菌の公定法変更について」, 地方衛生研究所全国協議会・関東甲信静支部細菌研究部会(2015.2)
- 工藤由起子, 「なぜ日本の腸炎ビブリオ食中毒は減少したのか」, 第42回日本食品微生物学会学術セミナー(2014.7)
- 大西貴弘, 「クドア属粘液胞子虫による食中毒」, 第84回日本寄生虫学会(2015.3)
- 寺嶋淳, 「細菌性食中毒について」, 平成26年度地域保健総合推進事業発表会基調講演(2015.3)
- 登田美桜, 「世界のかび毒および魚貝毒に対する規制－コーデックス委員会を中心に－」, 生物化学的測定研究会第19回学術集会(2014.6)
- 登田美桜, 「植物性自然毒食中毒の発生状況」, 平成26年度地方衛生研究所地域専門家会議(九州ブロック)(2014.10)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質のリスクについて～「いわゆる健康食品」との関連で～」, 日本食品保健指導士会総会(2014.5)
- 畝山智香子, 「急性参照用量 (ARfD) と一日摂取許容量 (ADI) について」, 第5回食の安全・安心財団情報交流会(2014.6)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質の安全性について」, 第13回食品と化学物質のリスク勉強会(2014.6)
- 畝山智香子, 「「食品安全の観点と健康食品」～薬剤師が伝える健康食品情報とは?～」, ふあるま・ねっと・みやぎ第34回研修会(2014.6)
- 畝山智香子, 「食品の安全性と健康食品」, 健康食品管理士会中国支部研修会市民公開講座(2014.7)
- 畝山智香子, 「ほんとうの“食の安全”を考える」, 家庭科教職員(食育担当)対象セミナー『食育を科学的に考える』(2014.7)
- 畝山智香子, 「ほんとうの“食の安全”を考える」, 平成26年度伊予地区農業技術者連絡協議会生活部会第2回研修会(2014.7)
- 畝山智香子, 「食品中の化学物質のリスクと放射能の発がんリスクについて」, 登録担当者意見交換会(2014.10)
- 畝山智香子, 「食品安全リスク分析からみた健康食品」, 社福協50周年記念講演(2014.11)
- 畝山智香子, 「食品と放射能について」, おまえざきエネの会 身近な放射線学習会(2014.11)
- 畝山智香子, 「ネオニコチノイドの評価について」, 東京農大総合研究所研究会農薬部会(2014.12)
- 畝山智香子, 「輸入食品のリスク評価について」, 滋賀県食の安全・安心に関するシンポジウム(2015.1)

- 畝山智香子, 「「安全な食べものってなんだろう?」- 「いわゆる健康食品」の安全性について知っていますか?」, コープながの 食の安全学習会 (2015.1/2)
- 畝山智香子, 「食品の成分表示と食の安全」, 青森県栄養士会 青森地区交流研修会 (2015.3)
- 春日文子, “For Reducing Microbiological Risk of Food”, 2014 International Symposium on Agri-Food Safety (2014.7)
- 春日文子, 「食品微生物検査におけるサンプリングプランの国際動向」, 2014 AOAC INTERNATIONAL日本セクション勉強会 (2014.12)
- 春日文子, 「食品微生物規格基準設計の背景について」, 食品科研公開ワークショップ (2015.2)
- 春日文子, 「食品安全分野におけるデータの意義と課題」, 第7回国際ワークショップ「社会イノベーションを誘発する情報・システム」 (2015.2)
- 齋藤嘉朗, 「医薬品の製造販売後の安全性確保に関する行政施策と、関連するバイオマーカーおよび薬剤疫学研究」, 文部科学省 大学間連携共同教育推進事業「四国の全薬学部の連携・共同による薬学教育改革講演会 (2014.7)
- 中村亮介, 「新規培養細胞株を用いたインフュージョン反応惹起性の評価法開発」, 平成26年度創薬基盤推進研究事業成果発表会 (2015.2)
- 佐藤薫, 「ヒトiPS 細胞由来神経細胞によるヒト神経有害反応予測系の構築」, PMDA講演 (2014.4)
- 佐藤薫, 「ヒトiPS 細胞由来神経細胞による神経特異的有害反応予測の試み」, 実中研セミナー (2014.9)
- Sato K, “Microglia Enhance Neurogenesis and Oligodendrogenesis in the Early Postnatal Subventricular Zone”, Dept Cell Biol Anat Seminar, New York medical college (2014.10)
- 小島肇, 「シンポジウムⅡ “iPS細胞技術の発展と創薬・治療への応用” 動物実験代替法へのiPS細胞の応用」, 第21回HAB研究機構学術年会 (2014.5)
- 小島肇, 「動物実験代替法を用いた安全性評価とその問題点」, 第3回加計学園コスメティックサイエンスシンポジウム (2014.7)
- 小島肇, 「実験動物代替法の現状と化学品メーカーの取り組み」, 新科学技術推進協会 ライフサイエンス技術部会 材料分科講演会 (2014.9)
- 小島肇, 「動物実験代替法開発の国内外の動向と化粧品・医薬部外品への代替法活用の現状について」, 皮膚基礎研究クラスターフォーラム (2014.9)
- 小島肇, 「動物実験代替法を用いた“これからの化粧品・医薬部外品の安全性評価とその根拠の示し方”について」, 化粧品原料協会講演会 (2014.10)
- 小島肇, 「JaCVAM資料編纂委員会からの提言」, ROSアッセイ技術講習会 (2014.10)
- 小島肇, 「動物実験代替法に関する国内外の動向～動物実験禁止の国際社会での広がりについて～」, 新潟大学 慰霊祭特別講演 (2014.11)
- 小島肇, 「三次元生体組織構築への期待と課題」, 第三回三次元生体組織構築公開シンポジウム (2014.12)
- 小島肇, 「Human/Organs-On-A-Chip研究開発への期待と懸念」, シンポジウム: 細胞アッセイ技術の現状と将来 (2015.1)
- 小川久美子, 「化学物質の安全性評価について - 食品添加物を例に」, 第6回プラズマ医療・健康産業シンポジウム (2014.12)
- Yoshida M, “Seminar to promote the harmonization of MRL setting process in the Asian region”, Project of Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2015.1)
- 小川久美子, 「化学物質リスクを評価するための病理学の重要性」, 化学物質の安全管理に関するシンポジウム - 化学物質規制における新たな課題と背景 (2015.2)
- 吉田緑, 「農薬の安全性評価について」, (株)化合物安全性研究所第4回学術講演会 (2015.3)
- 本間正充, 「医薬品中に含まれる遺伝毒性 (変異原性) 不純物の安全性評価とTTCの考え方」, 国際製薬技術協

会 (ISPE) 日本本部 交叉汚染防止限度値 (ADE/PDE) 設定セミナー (2014.9)

本間正充, 「インシリコによる医薬品中不純物の安全性評価と, その向上に向けた国際共同研究」, 計算毒性学研究会キックオフミーティング (2014.10)

本間正充, 「食品添加物等の遺伝毒性発がんリスク評価法」, 平成26年度日本食品衛生学会公開講演会 (2015.2)

広瀬明彦, 「ハザードアセスメントからリスクアセスメントへ」, 日本動物実験代替法学会第27回大会教育講演 (横浜国立大学) (2014.12)